

平成26年度 中山間地域総合整備事業 再評価調書

事業名	中山間地域総合整備事業	地区名	みよし 三好地区
事業主体	徳島県	関係市町村	東みよし町
事業概要	<p>(事業目的)</p> <p>本地区は、徳島県西部、三好郡に位置する吉野川北岸の中山間農業地帯で、急峻な地形を呈しており、農地はほとんどが不整形で小規模である。また、生産及び生活環境基盤に係る整備が遅れているとともに、過疎化、高齢化、担い手不足等の課題を抱えている。</p> <p>このため、老朽化した用排水路の整備、農道の改良や新設を行うことにより、優良農地の保全に努め、生産条件の改善や農業所得の向上を図る。更に、農業集落道など生活環境基盤の整備を総合的に実施することで地域活性化や農業振興を図る。</p>		
	<p>(事業内容)</p> <p>受益面積 281.8ha 受益戸数 939戸 主要工事 農道 3,111m, 用排水路 7,078m 農業集落道 970m, 農地防災(ため池) 2箇所 総事業費 1,607,000千円 (国55%, 県0%, 30%, 町13.5%, 15%, 45%, 地元農家0%, 1.5%) 工期 平成17年度～平成30年度</p>		
評価	<p>(事業の進捗状況)</p> <p>平成25年度までに農道1,083m、用排水路6,522mを実施している。 平成26年度末の事業費進捗率は、54%となっている。</p>		
	<p>(関連事業の進捗状況)</p> <p>特になし。</p>		
評価	<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>本地域では、農業従事者の高齢化と農業後継者の不足及び農産物価格の低迷や資材費などの高騰により、営農状況は年々厳しくなっている。このため、用排水路や農道などの生産基盤、農業集落道などの生活環境基盤の整備により、営農労力の節減や生活環境の改善を図ることが重要になっている。</p>		
	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</p> <p>該当なし。</p>		
項目	<p>(事業効果の発現状況)</p> <p>1 用排水路が整備されたことにより、農地の条件が改善されている。 2 農道が整備されたことにより、農作物の輸送、通作などの農業交通の利便性の向上が図られている。</p> <p>総費用総便益比＝総便益／総費用＝1.27</p>		
	<p>(受益農家、関係機関の意向)</p> <p>東みよし町や地元受益農家から、事業の早期完成を要望されている。</p>		
目	<p>(事業の実施方針)</p> <p>継続して事業を実施する。</p>		